

## 裸麦品種「ハルアカネ」が普及拡大しています！

【研究のポイント】

### 大分の味噌づくり

- ・大分県は味噌づくりが盛んな地域で、県内に多くの味噌製造メーカーがあります（味噌出荷数量は全国4位）<sup>注1</sup>
- ・九州では麦味噌が好まれており、原料には裸麦が使用されています。
- ・大分県の裸麦栽培面積は全国2位で<sup>注2</sup>、県産麦味噌づくりに大きな役割を果たしています。  
注1) 工業統計調査（2020）より 注2) 作物統計調査（2023）より

### 従来品種の課題と新品種の選定

- ・従来品種（トヨノカゼ）は、倒伏しやすく収量が低下する点が問題視されていました。
- ・そこで、品種選定試験で倒伏しにくく収量性の優れる**裸麦新品種「ハルアカネ」**を選定しました。
- ・令和2年に認定品種に採用され、令和5年産では441haで栽培されています。

【研究の成果】

### 「ハルアカネ」について

- ・農研機構 近畿中国四国農業研究センター四国研究センターにおいて育成された六条裸麦。（品種登録出願公表 2020年1月23日）
- ・交配組み合わせ：四R系2252/四国裸99号

#### 「ハルアカネ」の特徴

従来品種（トヨノカゼ）に比べ

- ① 出穂期は同程度で、成熟期は3日早い。
- ② 稈長および穂数は同程度で、**穂長は長い**。
- ③ 収量は**やや多い**。
- ④ 容積重および千粒重は**やや重い**。
- ⑤ **耐倒伏性に優れ、中折れも発生ににくい**。
- ⑥ 品質は概ね同程度～やや優れる、ヤケ粒の発生は**やや少ない**。
- ⑦ 穀粒硬度が高いため搗精時間が長いですが、砕粒率は低い。うるち性であるが、通常もち性に多いβグルカン含量が**やや多い**。（育成地による評価）



倒伏の違い



穂の違い

ハルアカネの生育、収量および品質特性（水田農業グループ、2014～2020年産の平均値）

品種	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度 (0-5)	収量 (kg/10a)	千粒重 (g)	容積重 (g/L)	検査 等級 (1-5)
ハルアカネ	3.31	5.15	86	6.2	375	0.9	463	32.8	865	2.2
トヨノカゼ	3.31	5.18	87	4.7	379	2.7	447	32.1	859	2.7

注1) 播種期：11月17～21日、条播。

注2) 倒伏程度は無(0)～Ⅴ(5)の6段階で示す。検査等級は、1(1等上)、2(1等中)、3(1等下)、4(2等)、5(規格外)で示す。

注3) 収量は粒厚2.0mm以上の子実重を含水率12.5%換算した値。

【生産者の声】

ハルアカネを栽培して3年目になりますが収量は従来品種（トヨノカゼ）を栽培していた頃と比較して15～20%多くなりました。

ハルアカネは収穫時に茎が折れることが無いため品種転換前よりも収穫ロスが少なくなっています。

令和5年産では収量や品質等が評価されて大分県麦作共励会で優秀賞（農家の部）を受賞しました。

今後も高収量かつ高品質な裸麦栽培に取り組んでいきます。

国東市 田中 徹治 氏



【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム  
TEL：0978-37-1160（問い合わせは企画指導担当へ）  
住所：大分県宇佐市大字北宇佐65